

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年09月10日

計画の名称	6 丸森町における公共施設へのアクセス強化等を支援する社会資本整備（社総交）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	丸森町											
計画の目標	役場、公民館、丸森病院、老人介護施設、学校等、公共施設への安全で円滑な交通と住みよい地域を創造するための社会資本整備を行う。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,649	A	1,649	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	公共施設へ通じる国道、県道までのアクセス時間の短縮率を0%（H27）から25.1%（H31）へ 対象集落から目的とする公共施設へ通じる国道、県道までの到着時間短縮率を現地走行及び設計速度により算出する。 (国道、県道までの到着時間短縮率) = 1 - (事業後移動必要時間) / (事業前移動必要時間)	0%	16%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村道	改築	(他)沼滝ノ上線	現道拡幅 L=0.3km	丸森町						79	-	-	
	A01-002	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村道	改築	(他)山屋敷鬼ヶ柵線	現道拡幅 L=0.8km	丸森町							200	-	-
	A01-003	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村道	改築	(他)北伊手山口線ほか 1路線	現道拡幅 L=0.8km	丸森町							220	-	-
	A01-004	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村道	改築	(2)梅ノ木平線	現道拡幅 L=0.6km	丸森町							196	-	-
	A01-005	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村道	改築	(他)中原線	現道拡幅 L=0.8km	丸森町							227	-	-
	A01-006	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村道	改築	(2)深堀宮田線	現道拡幅 L=0.8km	丸森町							200	-	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-007	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村	改築	(1)五福谷北山線	現道拡幅 L=1.1km	丸森町						207	-	-		
	A01-008	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村	改築	(2)烏峠線	現道拡幅 L=0.5km	丸森町							80	-	-	
	A01-009	道路	一般	丸森町	直接	-	市町村	改築	(他)川下線	現道拡幅 L=1.2km	丸森町							240	-	-	
											小計							1,649			
											合計								1,649		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 丸森町建設課	事後評価の実施時期 令和2年9月
	公表の方法 町ホームページへの掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本事業の活用により、町単独費のみの投入と比較し、より早い段階で着手することが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・未整備区間の早期整備を進め、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 ・必要性及び優先度による事業の選択を集中を図ることで、より一層効果的な事業執行につなげたい。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	時間短縮率		
	最終目標値	25%	当初見込んでいた予算の確保が難しく、事業進捗に遅れが生じたことや、令和元年東日本台風による被災で事業を休止したことから下回ったもの。
	最終実績値	18%	